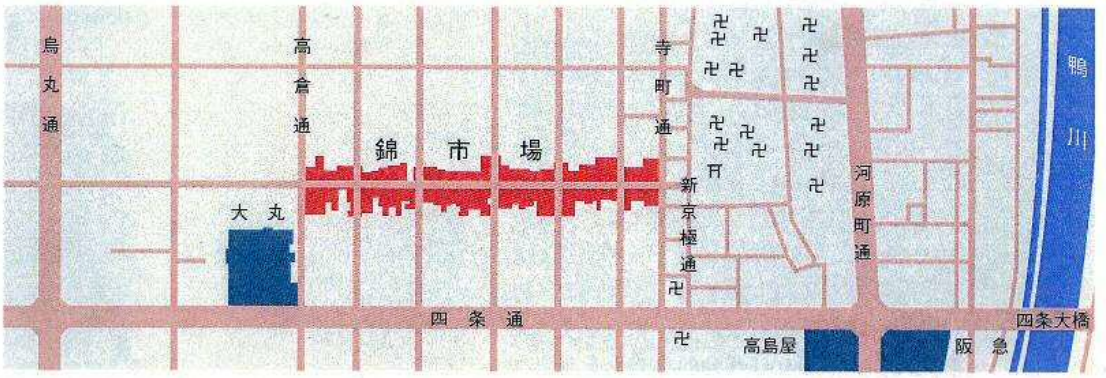

図2-40-1　錦市場の位置　　出典　「京都歴史アトラス」1994年，足利健亮　編，中央公論新社

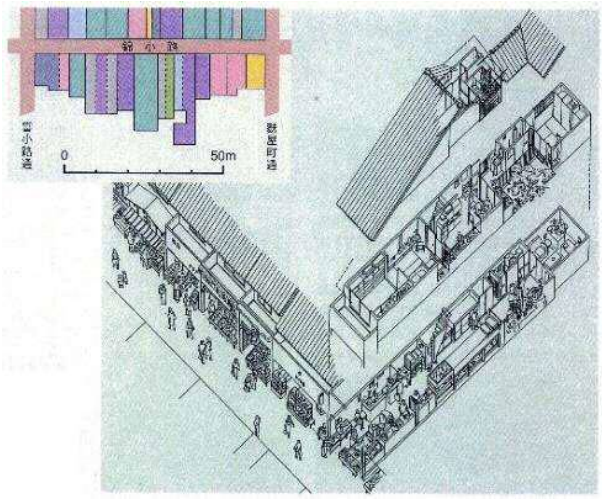

図2-40-2　錦の町並と町家
出典　「京都歴史アトラス」1994年，足利健亮　編，中央公論新社

錦市場のアーケードの中に，店の間をめいっぱいに開いた京町家の店舗が連なり，そこには京野菜や魚，漬物といった商品が所狭しと並べられており，他の店に負けじと発する呼び込みの声やざわめきと市場特有のにおいが相まって，行き交う買い物客に古くから続く，活気あふれる京都の台所の風情を感じさせている。

写真 2-69　錦小路市場

(イ) 縁日市

縁日というのは「有縁の日」「結縁の日」の意味で，神仏の降誕・示現・誓願などにちなんで，霊験が顕著とされる日である。寺社ではこぞってこの日を宣伝し，大衆の参詣を促していた。寺社参詣が都市住民の遊山となりつつあった江戸時代の京都では，縁日には，その寺社の境内・参道あるいは周辺付近に，必ず露店の「縁日市」が立った。この縁日のうち，京都市には，弘法さん・天神さんといった，広く市民に親しまれ，多くの参拝者で賑わう，毎月の縁日市がある。

a　弘法さん

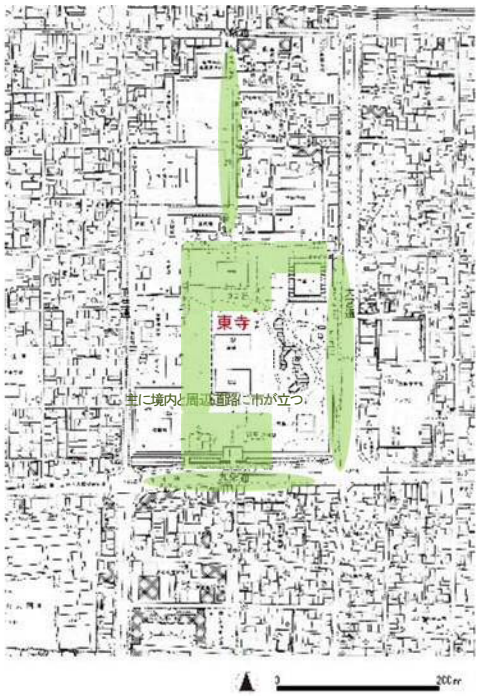

図2-41　弘法さん